

おうちの人と一緒に楽しみました



11月8日(土)、今年も「三世代親子なかよし祭り」が表佐小学校を会場に開催されました。

今年も、従来と同様学年を超えてコーナーを設け、竹細工、万華鏡づくりなど9つのコーナーに分かれ講師の方に教えていただきながら、親子で、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんと一緒にものづくりなどに取り組みました。

今年初めて開催した「書」(筆アート)のコーナーでは、墨を使って来年の干支の午(うま)の年賀状作りに挑戦しました。



三世代親子なかよし祭り

ちさと

表佐まち協だより

2025年12月1日
表佐まちづくり協議会
垂井町表佐 1723-1
Tel・Fax 22-1011
Mail: osakou@town.
tarui.lg.jp
広報部会



まち協ホームページ
QRコード



今年はインフルエンザの感染者が増加している。インフルエンザは高熱が出て、関節痛、筋肉痛などの他、全身倦怠感、食欲不振などの症状が強く現れると言われる。用心用心▼ところで昔から風邪にはタマゴ酒がよいとされる。日本酒一合を火にかけてアルコールを飛ばし、溶きほぐした鶏卵と砂糖、好みて生姜の絞り汁を加えて作る。卵液に少しずつ熱い酒を加えるのがコツである。卵黄だけを使うと、より滑らかで濃厚なタマゴ酒ができる。子供の頃に飲んだ体験の方も多からう▼しかしその鶏卵も物価の優等生を卒業し、物価高に一役買っている。円安の影響も受け、原油や天然ガス、小麦といった原材料価格が上昇し、それらを原料とする食料品や日用品、ガソリン、電気料金なども連動して値上がりする物価高。ガソリンの暫定税率は今月末で廃止になるなど、物価高騰対策が政策の大きな柱となっている▼ともあれ物価高騰に負けず、風邪など引かず体調を整え、来たる年に備えたい。

ハリヨ便り





12・1月の行事・講座



行事・講座・教室名		
実施日	時間	場所
カワニナ採り ホタルの幼虫のえさとなるカワニナを採ります		
12月6日(土)	9:00~11:00	ハリヨの里
料理教室3 おせち料理に挑戦 (募集は締め切りました)		
12月6日(土)	10:00~13:00	表佐まちセン
ダンボールコンポスト講習会 生ゴミを資源に(募集中)		
12月8日(月)	13:30~14:30	表佐まちセン
ちさと子ども教室「花もちづくり」 お正月を迎える準備をしよう		
12月13日(土)	9:30~11:30	表佐まちセン
いきいきふれあいサロン クリスマスお楽しみ会		
12月18日(木)	10:00~11:30	表佐まちセン
ちさと子ども教室「門松づくりと餅つき大会」 玄関に飾る門松を作ろう		
12月20日(土)	9:30~11:30	表佐まちセン
皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは回覧・全戸配布チラシで。 感染症の流行、その他状況によって、延期・縮小・中止・開催方法変更の場合 があります。その場合には、回覧やホームページ等でお知らせします。		
寿会新年の集い おじいさん、おばあさんいつまでもお元気で		
1月10日(土)	13:00~16:00	表佐まちセン
ちさと子ども教室 (科学教室) 科学の不思議を体験しよう		
1月17日(土)	9:30~11:30	表佐まちセン
いきいきふれあいサロン (初笑い) お笑いヨガで初笑い		
1月22日(木)	10:00~11:30	表佐まちセン
ちさと子ども教室 相川で泳ぐこいのぼりを作ろう		
1月24日(土)	9:30~11:30	表佐まちセン

家庭内でウイルスが付着しやすい場所



ドアノブやスイッチなど、共有する様々な部分にウイルスが付着している。特に感染症が流行しやすい時期は、手洗いが大切。

予防としては、人ごみを避ける、マスクを着用する(咳エチケット)、外出後はうがいや手洗いを行うことです。これらを実践して、周囲への感染を防ぎましょう。

表佐地区まちづくりセンター

12・1月の休館日

12月	2日(火)	1月	4日(土)
	9日(火)		6日(火)
	16日(火)		13日(火)
	23日(火)		14日(水)
	29日(月)		20日(火)
	~		27日(火)

冬の感染症対策

インフルエンザ対策

防災コーナー

今年の冬の気温はほぼ平年並みですが、12月には早くも真冬並みの寒気が南下すること、秋を感じる間もなく真冬を迎えることとなります。寒くなると流行するインフルエンザ。今年からインフルエンザが猛

威を振るっています。そこでインフルエンザの特徴を知り、感染しない知識を身に付けましょう。コロナ禍で感染対策が徹底されたことで、それまで流行していた感染症も息をひそめました。5類移行後、様々な感染症が再び流行しています。インフルエンザは、ウィ

ルスにより発熱、頭痛、全身倦怠感、関節痛などが突然現れ、その後咳や鼻水などの症状が続きます。普段かかる「かぜ」と比べると全身症状が強く、お年寄りや持病のある人は重篤化して入院が必要なこともあります。またこどもでは急速に悪化する急性脳症を起す危険性があります。

主な感染経路は、空気中に浮遊しているウイルスを吸い込む空気感染、目や鼻、口に直接ウイルスがとどく飛沫感染、また手についたウイルスを目や鼻を触って体に入る接触感染があります。インフルエンザには、重症化予防のための早めのワクチン接種が有効ですが、絶対安全ということではありません。



空気・飛沫・接触 3つの感染経路
看護 roo! ホームページ「看護師イラスト集」より